

2025.2.13

No1

その仕事の目的は何ですか

世の中の会社には存在する目的があります。

何かしらの分野で人の役に立つ事を行い、それを必要としている顧客の存在があると言う事です。

継続的にその価値を提供し続けるために行う活動を私は経営と定義づけ仕事としています。

さて、置かれている立場はそれぞれ違っても与えられている仕事には必ず意味があり、行う理由があります。

会社で言えば大きな使命を果たすために、それぞれの持ち場で行う仕事は様々で内容も違います。ですが、本来仕事を行う目的は大きな使命を果たすためです。

弊社は、日本最高の快適空間創造企業として専門知識を活かして人々の暮らす空間を快適にする事を使命としています。

目の前の仕事をいっつもそれと結びつけて働くのは、意識していないと難しいかもしれません。油断していると、ただ指示を受けた事を何も考えずに行うだけの働き方が癖になってしまい、出来るだけ楽ならば言う事はいいと思ってしまうかもしれません。それへ次々とやる事が降りてくると、ただストレスでしか無くなるでしょう。

昨年頃から理念研修の内容が変化して会長を交えての開催と各店で開催する物と分けて行うようになりました。

店長たちは計画通りに行っているでしょうか？

八王子店では自店開催を終えたそうです。報告を聞き、やはり水感ではなく明確な目的を持って行っているのを感じ、感心しました。

お客様に喜んでいただくには、の部分だったと思いますが、自店のお客様に大切にされていると感じてもらうために電話接客も言葉遣いに注意を払い、細やかな神経を使う事で不快な思いをさせない内容が盛り込まれていたようです。

これには、普般から「もっと喜ばれる良い店にするために、今、修正すべきところはありますか？」と目線を上に上げて考えていたから、その明確な目的を持って開催に至ったのだと思います。

すぐには変化は見られないとしても繰り返して行くうちに理想の店舗に

2025.2.13

No.2

近うって行く事でしょう。

たかば一回の研修でも、やらされ感で開催したならば
学びはほとんど無く、出席した人の時間を無駄に浪費しただけ
になってしまいます。

そして、やらされ仕事は、同じ労働でも「こなす」だけの仕事なので
楽しく無いはずで、レンガ職人の童話の1人目です。「辛勤」です
目指しているのは、使命を感じ自らを突き動かして行う仕事です。

レンガ職人の3人目「朗動」です。働く事が楽しく生甲斐にすらなる
かもしれません。いつも新人社員の人に話す内容にも含めて
いますが、同じ働く時間ならばこのように働きたいものです。

今、自分に取り掛かっている。その仕事の目的は何ですか？と
自分に問いかけてみて下さい。

さて、会長から目標をもち働くことを始めようと、社員全員に
呼びかけられています。これも大事な事だと思えます。突然
言われて何を目標にしたら良いかわからない方もおられるかと
思いますが、店長と相談してみるのも良いかと思えます。店長は、
次にこのレベルに到達して欲しいと願っているはずで。

入社したばかりの方と3~4年経っている方に求める事は変わってきます。
年数を重ねるたびに熟練し、知識も増え加わって行くので給与と
共に求められるレベルも上がって行きます。

最初は会社のルールを守り、言われた事に素直に取り組む、だけが良いと
されていた事でも、やがて1人で出来るようになり、更に成長すると人に教え
られるようになり、その度に目標も変わります。とは言え、

目標も与えられた課題をこなす形ですと仕事を楽しく感じられな
いかもしれません。先の方に目標を伸ばし、と言う目的のために目の前の
仕事があり、それをどのように成し遂げるか？というストーリーを描き、

小さな壁と見る目標をコツコツと乗り越え続けるならば、今まで
見えなかった景色が見えてくるかもしれません。

店長と言えども、自分の抱えている仕事の目的を考える事が無かった
ならば、まずは自分から意識するようになります。

2025.2.13

No.3

船長が行き先をしっかりと把握し、今、自分達にどこに居るのが
しっかりと認識してないと船員の努力は虚になります。

店長だけでなく、店で働く人達にも、どこへ向かっているのか、
今のペースが良いのか、発信出来るようにしよう。そうすれば
一人一人が掲げる目標は、言われて淡々と提出するものではなく、
自分の意志で立てやすくするのではないのでしょうか？

きっと、それは仕事の目的に焦点が合ったものにするのでは
無いのでしょうか？